

1/18
(月) 開催



RICeD

Research Institute for
Cell Design Medical Science

— 所内 **SEMINAR** —

細胞デザイン医科学研究所

融合研究推進室

2027年1月18日(月) 17時～18時

場所：医修館5階セミナー室

ハイブリッド開催



ミーティングID：810 8856 8853

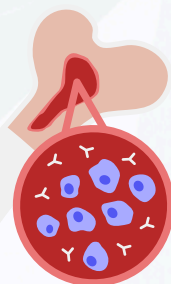
パスワード：270118



田村 彰吾 教授
(血液再生制御学)

17:00-17:30

**① 骨髄を知り、
骨髄を創る**



17:30-18:00

**② 肝臓の謎—再生と可塑性—の
解明に向けて**



勝田 毅 准教授
(ゲノム制御医学)

【お問い合わせ】

山口大学細胞デザイン医科学研究所事務局

☎ 0836-85-3065

✉ sh088@yamaguchi-u.ac.jp

ABSTRACT

① 骨髄を知り、骨髄を創る

これまで、当研究室は骨髄の発生、微小環境、造血（特に巨核球造血）メカニズムの解明に取り組んできました。そして現在はそれらの知見を学術背景として、生体内外で骨髄を新生発生させる技術開発に取り組んでいます。本講演では我々が新生骨髄発生に取り組もうとした経緯、生体皮下における新生骨髄発生の進捗と課題、そして今後の展望や共同研究の可能性について皆様と議論させていただきたいと思います。

ABSTRACT

② 肝臓の謎—再生と可塑性—の 解明に向けて

肝臓は高い再生能を持つが、深刻な障害下では再生能が低下する。そのような状況での有効な治療法は肝移植であるが、ドナー不足が長年の問題となってきた。その解決策として、肝細胞を生体外で増やし、移植するアプローチが近年注目されつつある。また、深刻な障害に陥った肝臓では、肝細胞が脱分化する現象が明らかになってきた。本セミナーでは、これらのトピックに関する演者のこれまでの取り組みについてご紹介する。